

# 委員会付託内容・審査報告

※議案名などは、採決結果一覧(8ページ)を参照ください。

## 総務常任委員会

3月1日に総務常任委員会を開催し、付託された議案2件、陳情3件について慎重な審査を行いました。

### 審査結果

議案第21号、議案第37号は原案可決。

(29) 陳情第13号、陳情第2号、陳情第3号は不採択。

### 主な質疑

● 議案第21号  
問 新たに設置する、児童扶養手当障害認定医の報酬額は、どのような基準で定めたのか。  
答 認定医を山武郡市医師会に依頼して、任命するという関係があるため、報酬額は東金市や

無駄づかいは許されないが、この制度は必要である」などの意見がありました。  
平成30年3月1日に開催した委員会では、「いま選挙費用公費の使用が不適切ならば規制は必要だが、その様な状況にはないため、陳情には賛成できない」、「誰でも立候補できる制度は必要であり、県内37市全てが条例を制定している」などの意見がありました。

### 陳情第2号

「日本政府は、日米地位協定の運用の改善を図っていくとしている。また、事案により適切に運用の改善を図ることが、最善ではないか」との反対意見がありました。

また、「日本国内での米軍による航空機事故が多すぎる。また、思いやり予算など財政負担も大きい。協定の見直しを求めようとする根拠は第7期の介護サービス事業料を見込んだ中で必要な料金を算出した。

## 文教福祉常任委員会

3月2日に文教福祉常任委員会を開催し、付託された議案9件、請願1件、陳情2件について慎重な審査を行いました。

### 審査結果

議案第22号から議案第24号、議案第27号から議案第32号は原案可決。

請願第1号は採択。陳情第4号は不採択。陳情第1号は取下げ。

### 主な質疑

● 議案第23号  
問 国保会計財政調整基金について、改正により財政上必要があれば取り崩すことができるか。  
答 今後は、基金を取り崩すた

山武市と同額の金額とした。

### 議案第37号

問 大網中学校の旧給食調理室の解体工事は、施設の面積と比較すると、金額が高いのではないか。また、工事の詳細な内容は。答 施設は鉄骨平屋建てで面積102㎡。全体工事費用のうち、3割ほどが解体工事にかかる経費であり、その他、3割強が既存の校舎接続部分の改修工事、2割強が整地工事、1割ほどが排水改修工事にかかる見込みである。

また、「日本国内での米軍による航空機事故が多すぎる。また、思いやり予算など財政負担も大きい。協定の見直しを求めようとする根拠は第7期の介護サービス事業料を見込んだ中で必要な料金を算出した。

### 主な意見

(29) 陳情第13号  
平成29年12月12日に開催した委員会では、「税金である以上、

めの理由が幅広くなる。

### 議案第24号

問 人間ドックにおいて、これまで胃の内視鏡検査を受けていなかった人は料金が高くなるということがあるか。  
答 基本料金は、半日ドックの場合で、2,160円上がる。新材料金は、胃の内視鏡検査を含んでおり、他の医療機関と比べても、利用者にご理解いただける料金と考えている。

### 議案第28号

問 介護保険料の段階区分の見直しは本市独自で決めたものか。また、保険料値上げの根拠は。答 国の基準よりも本市は優しい基準とし、所得が低くなるにに応じて、保険料率を下げようとしている。また、200円上げ

### 議案第29号

問 条例改正による本市へのメリットは。答 市内施設に入所される方の保険料は、これまでは本市で徴収を行っていたが、今後は元々の住所地の自治体が保険料を徴収することになり、本市では徴収する必要がなくなる。

また、「前回の委員会では、政府がどのような受動喫煙の法案を出すのか分からない中で議論だった」など賛成意見がありました。

「津波避難タワーも築山も、一長一短があるが、地元住民の要望もあり築山となった。これ以上の議論は必要ないのでないか」などの反対意見がありました。

### 陳情第3号

「津波避難タワーも築山も、一長一短があるが、地元住民の要望もあり築山となった。これ以上の議論は必要ないのでないか」などの反対意見がありました。

## 総務常任委員会

- 委員長 堀本 孝雄
- 副委員長 小倉 利昭
- 委員 小金井 勉
- 委員 北田 宏彦
- 委員 前之園 孝光
- 委員 佐久間 久良



## 文教福祉常任委員会

- 委員長 秋葉 好美
- 副委員長 森 建二
- 委員 蛭田 公二郎
- 委員 田辺 正弘
- 委員 宮間 文夫
- 委員 倉持 安幸

## 産業建設常任委員会

3月5日に産業建設常任委員会を開催し、付託された議案4件について慎重な審査を行いました。

### 審査結果

議案第25号、議案第26号、議案第33号、議案第34号は原案可決。

### 主な質疑

● 議案第25号  
問 なぜ都市公園に設ける運動施設の敷地面積に対する割合の上限を、定める必要があるのか。  
答 競技場等の施設のある運動公園において、バリアフリー化や国際基準に対応する改修を行うことで施設面積が増え、国の基準の上限を超えてしまう等の事例があり、その上限の率を自治体の条例で定めることとなった。

● 議案第26号  
問 この条例の改正により、市の負担は増えるのか。  
答 ガス使用量に応じた市負担額を定めるための改正なので、中圧供給の場合、使用量は増えるため、結果的に市負担額は増えることとなる。

● 議案第33号  
問 下水道施設の改築更新事業の中に、耐用年数を超えていない設備も含まれるのか。  
答 施設の長寿命化計画では耐用年数を超えたものだけを更新する。耐用年数を超えていない設備は、今回の事業には含まれていない。

## 産業建設常任委員会

- 委員長 黒須 俊隆
- 副委員長 石渡 登志男
- 委員 花澤 房義
- 委員 山田 繁子
- 委員 加藤岡 美佐子

議案第31号  
国の法律改正に伴い、条例上の基準を改めようとするものなど。

また、指定介護予防支援事業者が連携に努めなければならない機関として、障害福祉制度の相談機関を追加する条例改正をしようとするもの。

### 議案第32号

介護保険法の改正により居宅介護支援事業所の指定権限が市に移譲されることに伴い、その基準を定めようとするもの。

### 議案第33号

公共下水道施設  
の第2期  
改築更新  
事業を  
実施しよう  
とするもの。



市浄化センター

契約方法 随意契約  
契約金額 9億9千3百万円  
契約相手方 日本下水道事業団  
契約期間 平成30年度から平成32年度まで

### 議案第34号

宅地開発事業の完了に伴い、市に帰属された新設道路を、市道と認定しようとするもの。

### 議案第35号 議案第36号

固定資産評価審査委員会委員に、秋葉芳秀氏、今井洋一氏が再任することに同意するもの。

## 議員発議

次のとおり議員発議による提案がされ、可決しました。  
○ 発議案第1号 精神障害者も千葉県県重度心身障害者医療費助成制度の対象とすることを求める意見書の提出について